



志津南

3月号 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (1/31 現在)
世帯数 2,499 総人口 6,664 人

発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

スライドを見ながら話し合う出席者



市長とトーク

災害発生時の課題 意見交換 行政と連携し安心・安全なまちへ

志津南学区まちづくり協議会(高田憲一会長)は2月8日、志津南まちづくりセンターで「市長とまちづくりトーク」を開催しました。

「自然災害発生時における自助、共助、公助」をテーマに、地域の安全をどのようを守るかという観点から、意見交換を行いました。

まち協から理事など21人、行政側は橋川渉市長をはじめ7人が出席しました。

昨年8月14日夜半、テレビに「避難指示 草津市志津南学区土砂災害警戒区域

28世帯」とテロップが流れ、まちづくりセンターに避難所が開設されました。幸い大事に至らなかったものの、避難指示の対象となる地域があったことなどを初めて知った人も多く、そこから見えてきたいくつかの課題が話し合われました。

四方道治まち協副会長の議事進行で、次の3点について問題提起と意見交換が行われました。

1. 情報の伝達方法と最寄り会の会館の利活用
2. 土砂災害特別警戒区域などの脆弱な地盤に住む住民の安心、安全
3. 草津市災害時要援護者避難支援プランの有効活用

市から避難指示について、滋賀県と彦根地方気象台が状況確認し土砂災害警戒情報が発令すると、市の避難指示発令が定められているといった経緯や、今回の対

象地域が昨年2月に新しく認定されたところであったことなどが説明されました。そのうえで、今回の連絡が対象者のみにとどまり、避難支援側の町内会長や民生

令和2年4月から施行されている現行組織は、理事会とは別にグループ会議を開催し、グループ代表1名が理事会に所属する体制に

志津南学区まちづくり協議会(高田憲一会長)の臨時理事会が2月13日に開催され、現行組織の問題点が話し合われ、まち協組織図の見直し等が承認されました。

志津南学区まちづくり協議会(高田憲一会長)の臨時理事会が2月13日に開催され、現行組織の問題点が話し合われ、まち協組織図の見直し等が承認されました。

なっています。

が、代表一人が、それぞ

れ方向の異なる専門委員会と委嘱団体すべてを連携・調整することは困難であること。理事会とグループ会議の並立は、相互の意見調整が不十分なまま総会に臨むことになりかねないこと。

副会長2人が町内会長からの選出で、グループ会議の意見が反映されにくいことなどの問題点が指摘されました。グループ会議もこの二年間に一度しか開かれず機能していません。

そこで、グループ会議・及びグループ代表の廃止、各専門委員会、委嘱団体代表が理事会に出席すること、理事会に出席するこれらの代表から1名を選出し副会長に加えることなどが提案されました。

委員児童委員が知らなかった事について、今後の対応を約束していただきました。

また、町内会館などを避難所とする他地域もあるとして、志津南まちづくりセンターから遠い地域が会館などを避難所とすれば、物資などの援助も考えていたなどの事でした。

地盤が脆弱な区域の根本的な修復工事については、市も随時安全点検を行っており、支障がない地域については地域で工夫をして欲しいこと、大がかりな工事が必要になれば対応していくことなどが示されました。

避難支援プランについては、制定から11年経って見直しが必要な個所もあり、市も課題として検討している。

これにより、町内会長と各専門委員会の代表者、社会福祉協議会代表者が理事となり、理事会に全機能が一元化、協議会の副会長は3人となります。

職員の就業規則についても、現行のひずみがいくつか指摘され、皆で検討しました。

この学区には、既に地域の中でできることをやってくという芽もあり、今後行政と連携を取りながら、安心・安全なまちの実現に取り組んでいくことを確認し合いました。

現在職員の一部は、前任者の契約期間途中で不慮の交代を余儀なくされたため任期が短く、人事面での対応も急がれます。

4月の新年度スタートに間に合うよう事務手続きを進め、態勢を整えます。

気の励行。利用後は使用した物の消毒、手洗い等、皆様のご理解とご協力をお願いします。

「わかさ号」日時変更

移動図書館「わかさ号」の志津南まちづくりセンター巡回日時が、次のように変更されます。本年4月から実施されますので、利用される方はご注意ください。

(新) 毎月第4木曜日
16時00分～16時30分

(旧) 毎月第2木曜日
15時20分～15時50分



見直しが提案された組織図

防犯カメラ 学区内全てカバー

小学校正門前の設置工事



活動の一環として、志津南小学校児童の登下校における安全を見守るため、通

志津南学区まちづくり協議会(高田憲一会長)は1月31日、志津南小学校正門前に、岡本町西町内会からの通学路を見守るため、防犯カメラを設置しました。

これは令和3年度の草津市街頭防犯カメラ設置補助金を活用し、自主的な防犯

空き巣被害にご注意ください

最近、志津南学区において空き巣被害が多数発生しています。

先日の被害の犯行は昼間。玄関もすべて施錠されていましたが、隣家側の窓ガラスを割った侵入。12時半頃住人が気づいたため、1階・2階にあった現金盗難のみの被害で、怪我はありませんでした。

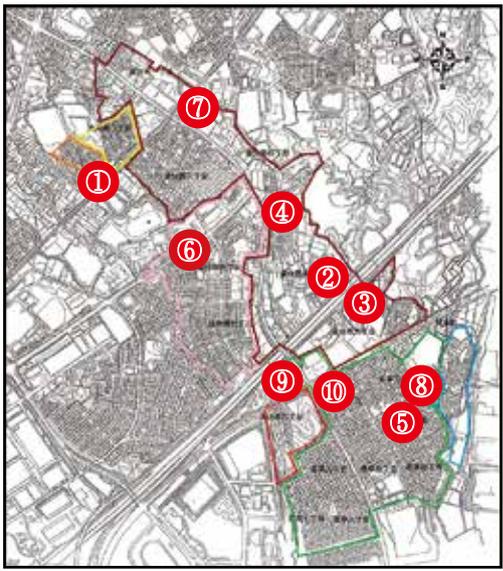
警察庁発表の令和元年犯罪資料によると、空き巣被害は時間帯別で1番目 10時〜12時



- 防犯カメラは、左記の場所に設置済みです。地図。
- ① 追分鴨田新幹線ガード下
 - ② 追分南九丁目トンネル入口
 - ③ 追分南九丁目トンネル出口
 - ④ 追分南五丁目キリン堂付近
 - ⑤ 若草三丁目東公園付近
 - ⑥ かがやきの丘サンミュージック付近
 - ⑦ 追分南二丁目平和堂付近
 - ⑧ 志津南小学校正門付近
 - ⑨ 若草交差点(県警カメラ)
 - ⑩ 若草交差点(県警カメラ)

今回の様に施錠した状態でも隙間を狙って侵入し、大切な物を奪って行きます。どんなに注意してもどうにもならない事もあるでしょうが、一人ひとりの心構えで変わる事もあると思います。万が一犯人と出くわしたら無理をせず、ご自身やご家族の命を優先させていただきます。

- (あ) あなたの大切な物を
 - (き) 聞こえない足音で
 - (す) 隙間を狙い侵入し
 - (ひ) ひたすら
 - (が) 我慢つけ
 - (い) 生きる為に人生を
 - (ぼ) 棒に振る盗人に
 - (う) 恨まれる盗人に
 - (し) 敷居をまたがせない
- 「空き巣被害防止」の対策心構えをお願いします。
- (ま) 協会長 高田憲一



中央公園どんぐりの木剪定

道路側に伸びた枝を剪定するボランティア会員



志津南環境美化ボランティアの会(舟木要一代表)は2月1日、若草中央公園東側の道路側に伸びたどんぐりの木の枝を切り落とし、スッキリとさせました。

今年初めての作業日となったこの日は、会員34人が参加しました。新型コロナウイルス感染症の状況から、作業中もマスク着用のみで行いました。そのため、交

りがアスファルトの道路に落下し、地域住民は元より若草診療所に通院される患者さんの歩行に支障をきたす状態となりました。市の道路課に剪定を要請していましたが、予算の関係もあり実施が難しく、当ボランティアの会が春に新芽が芽吹く前のこの時期にと、作業を行いました。

今年初めての作業日となったこの日は、会員34人が参加しました。新型コロナウイルス感染症の状況から、作業中もマスク着用のみで行いました。そのため、交

志津南文庫



春になれば...と楽しい事をいろいろ計画しても、長引くコロナ禍で実現できない事も多々あるかも知れませんね。

今回、花や野菜の育て方、残念ないきもの辞典、泣けるいきもの図鑑など動植物に関する本を多く並べています。それ以外にも大人向け、子供向けといういろいろあります。

楽しんでください。



わす言葉も作業確認等の会話のみで、黙々と作業が進みました。

剪定は、道路側に伸びた枝を、幹近くの元から切り落としました。当会は、設立9年目を迎えており、会員の剪定作業も手慣れたもので、1時間半ほどで終了しました。

作業後の中央公園周辺は伸びていた枝が切り払われたためスッキリとし、通行の安全も確保できる状況となりました。「いつまでも住み続けたい町づくり」が実現できるよう、今後も活動を続けていきます。

頭が下がります

高田樹希君(志津南小2年)はお父さんと、不定期にかがやき通りの清掃をしてしてくれます。

この通りは自動車、自転車、歩行者など交通量も多く、空き缶や菓子袋などのポイ捨てが後を絶ちません。年に2〜3回の町内清掃では追いつかず、見るに見かねて...とのこと。

この寒い中を本当にありがとございます。



「絆」おかげさまで10周年



志津南学区社会福祉協議会（松崎大次郎会長）ふれあいハウス「絆」は2月5日、開所10周年を祝いました。

60人余りの方が来て下さり、笑顔の絶えない日となりました。コロナ流行前は周年記念をぜひいでお祝いしていましたが、今回は喫茶無料接待にとどめ、せめて…と、節分の豆を添えました。

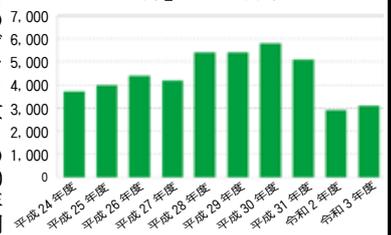


密に気を配りながら談笑

ふれあいハウス「絆」は平成24年2月、若草第六集会所に設立されました。以来、ふれあい喫茶・送迎支援・相談事・子ども支援等の活動を展開しています。

右のグラフはこの10年間の利用人数を示します。コロナ前は、月平均約450人、一日平均17人が来ていた時もあります。

「絆」来訪者数



この1年間、イマドキ子どもたちのいろいろな姿をお伝えさせていただきました。スマホやパソコンを自在に操り、仲間とそれぞ

れの家でオンラインゲームをしたり、地上波のテレビよりの動画配信サービスやYouTubeで見たい時間に好きなものを見たり。そんな時代に生きているイマドキ子どもたちですが、昔から変わらない子ども

心に届くと信じて

小学校の長休みや昼休みの運動場には元気に遊んでいる子どもたちが溢れています。まだまだ自然が身近に残るこの地域では、夏になれば桐生などで川遊びを楽しんだり、伯母川で釣りを子どもたちもたくさんいます。サリガニを捕ったり、虫やカナヘビを見つけて遊んでいる子どもたちも話してみると変わらな



ドキの事は子どもたちに教えてもらい、一年間拙い文章にお付き合いいただきありがとうございました。（なっちゃん）

(完)



アスレチック器具完成

若草中央公園 若草五丁目町内会（増井雅子会長）が若草中央公園に健康増進アスレチック器具を3基設置、2月15日完成説明会が行われました。

まちづくりセンター長や5丁目町内会役員の立ち会いのもと、使い方や効果について、説明を受けました。晴天にも恵まれ、参加者は笑顔で和気あいあいと完成を喜び合いました。写真。

草津市では「健康都市くさつ」を掲げています。多くの方々はこの健康器具を

追分南町内会「元氣くらぶ」は1月19日、びわ湖放送が滋賀のサークルを紹介・応援する「フレ！フレ！アミンチュ」の撮影取材を受けました。



緊張して取材に臨む元氣くらぶ

皆で「アミンチュ」

最初は緊張気味でしたが、撮影が進むにつれ徐々に楽しく撮影することができました。ナレーションや個人インタビューも、事前に考えた内容を暗記してうまく話せるかなと緊張した面持ちでしたが、一発でOKが出てホッとしました。いい思い出になりました。

「元氣くらぶ」はいきいき百歳体操を中心に、グルメ、歌謡、演芸、日帰り旅行等、町内高齢者の健康的で文化的な生活を応援する為に立ち上げた団体で、今回のアミンチュの取材で更なる飛躍を目指していきたいです。

4月号より新連載スタート

「今どき子ども事情（なっちゃんさん）＝3面、「彩とりどり歴史歩き」（野津隆さん）＝4面は、今号で終了します。一年間、色々な切り口からの話を楽しませていただき、ありがとうございました。4月号から、新たに次の連載が始まります。お楽しみに。



うさぎの目だよりに綴っていただきます。

うさぎはH9年度公民館講座「手話教室」終了後に立ち上がりしました。ドラマ「星の金貨」のテーマ曲「蒼いうさぎ」にちなんでの命に綴っていただきます。

代表）の方々



遊々閑話

毎日 多くの世界との出会いの一端を紹介していただきます。何気ない日々をキラキラと楽しなものにするヒントがあるかも知れません。

名です。活動に興味のある方は、第2・4月曜10時30分「絆」をのぞきにきてください。

手話の図説は村井由美子さん（若草3丁目）にお願ひしました。

緑のベストを着て、環境美化ボランティアに忙しい大橋愼さん（若草）は、実は色々な趣味をお持ちで、様々に日々を楽しまれる方でもあります。

使っていたら、健康づくりの一助として、また地域交流の場として、役立てていただければ幸いです。

